

一般社団法人柳川青年会議所 70周年記念事業 絆 ～地域に愛を、未来に光を～

学び・探求・発信プログラム 総合計画書

主催：一般社団法人柳川青年会議所 共催：柳川青年会議所シニアクラブ
後援：柳川市、柳川市教育委員会、新潟市



1.開催趣意

■目的

新潟の歴史・文化・産業・ひとの想いに触れ、柳川との共通点や違いを学ぶ中で、私たちが当たり前に見ている柳川の掘割や景観の価値に自然と気付かせ、**自分たちの地域をもっと好きになるきっかけを創出し、地域への愛着を醸成**します。

また、学びを体験で終わらせるのではなく、探求・計画・発表までを一貫したプログラムとして実施し、**未来を自ら考え、行動できる人財へと成長させ、社会参画の意識を高め**ます。

■対象者

柳川市内の中高生

※柳川市内在住の中高生は、市外の学校へ通学していても参加可能です。

※柳川高校、伝習館高校、福岡キャリアi高校、山門高校の生徒様は、市外在住者も参加可能です。

2.対象者選定理由

- ✓ 将来の若者の流失を防ぐことができる
- ✓ 将来のこのまちのリーダーを育成できる

多くの子供たちが進学や就職に伴い、一度柳川を離れます。柳川市においては、流失した若者のUターンする確率が筑後地域でもっとも低いというデータがあります。だからこそ、進路を考えるこの時期に、自分たちが暮らす柳川の魅力や価値を改めて知ってもらい、いつか、その子の人生のどこかで「柳川」が選択肢に入る可能性を高めたいと考えています。

3.学びの目標

本事業を通じて、参加者に以下の学びを提供します



地域理解・郷土愛

地域の歴史や文化を学び、
ふるさとへの誇りと
愛情を育む



主体性・探求心

自ら課題を見つけ、
調べ、考える力を育む



協働する力

仲間と意見を出し合い、
目標に向かって
協力する力を育む



表現力・発信力

自分たちの考えをまとめ、
相手に伝える力を育む



課題解決力

地域の課題に対して、
解決策を考える力を育む



キャリア形成

地域や社会と
関わることで、
将来の自分を考える
きっかけとする

4.安全管理



貸切バスを利用し、移動の安全を確保します。



レンタカーやJCメンバーの運転での移動は行いません。



旅行保険に加入し、万が一の事故・ケガに備えます。



フィールドワークはJCメンバーが同行し、安全管理を徹底します。



緊急時の連絡体制・対応マニュアルを整備します。



5.運営体制

主 催	一般社団法人柳川青年会議所
共 催	柳川青年会議所シニアクラブ ※当会議所のOB会です。
後 援	柳川市、柳川市教育委員会、新潟市
引率体制	中高生20名に対し、JCメンバー8～10名が引率・同行
その他 パートナー	有明交通(株)、柳川古文書館、新潟市歴史博物館、 新潟日報社、早川堀通り地域連合会、(株)ゆめ旅、 万代シルバーホテル、(株)諏訪田製作所、 道の駅ながおか花火館、(株)snowpeak ※順不同

6.この事業全体の学びの流れ

地域を知る
(新潟)



歴史・文化・掘割
地域の成り立ちを学ぶ

ひとの想いを知る
(三条・長岡)



ものづくり・企業・花火
ひとの想いと挑戦を学ぶ

柳川を見つめ直す
(柳川)



フィールドワークで
自ら柳川を調べる

未来を考える
(未来計画)



仲間と考え、
未来計画をつくる

地域へ伝える
(70周年記念式典)



地域の方々へ
自分たちの想いを発信

絆

～地域に愛を、未来に光を～

スマホを見るな。
未来を見ろ。

未来は、誰かに与えられるものじゃない。
掘割を再生させたまち、新潟市。
人の想いがつくる未来に触れる、
3日間の旅へ。

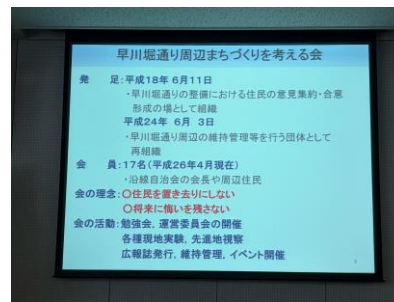
YANAGAWA JC 70th Anniversary Commemorative Project

August 7-9, 2026 (Fri.-Sun.) in NIIGATA

7.新潟セクション プログラム詳細

1日目：地域の歴史と再生を学ぶ（歴史・掘割・文化）

訪問先	講師・案内	学習内容	狙い（柳川への学び）
新潟懸護国神社	神職	成功祈願祭を行い、全員で本事業へ取り組み意志を共有する。	仲間と学び合う姿勢を整え、主体的に参加する意識を育む。
新潟市歴史博物館 (資料館)	副館長・小林様	新潟の掘割を中心とした歴史、港町・ものづくりのまちとして発展してきた歴史を学ぶ。	柳川も水とともに発展してきた歴史を客観的に捉え、地域の成り立ちを理解する。
新潟市歴史博物館 (会議室)	新潟市役所・中山様 新潟日报社・高橋様	掘割が消失した背景、市民・行政が連携して掘割再生へ取り組んだ歴史を学ぶ。	「ひとの想いがまちをつくる」という本事業の根幹を学び、地域課題を自分事として考える。
早川堀通り	早川堀通り地域連合会・高橋様	掘割再生に携わった当事者から、現地を歩きながら当時の想いや苦労、活動の経緯を学ぶ。	地域を変えるのは一人ひとりの行動であることを実感し、柳川の未来について考える。
万代橋・新潟まつり	JCメンバー	新潟まつりを見学し、その土地に根付く文化や伝統に触れる。	地域文化は人々によって受け継がれていることを体感し、柳川の文化を見つめ直す。



7.新潟セクション プログラム詳細

2日目：ひとの想いと地域の挑戦を学ぶ（ものづくり・企業・花火・挑戦）

訪問先	講師・案内	学習内容	狙い（柳川への学び）
(株)諏訪田製作所	営業部長・齊藤様	工場見学・メタルプレート製作体験。伝統的な金属加工技術と職人のものづくり文化を学ぶ。	地域産業は人の技術と誇りによって支えられていることを学び、柳川の地域資源について考える。
道の駅ながおか 花火館	館長・武士俣様	長岡花火の歴史や復興への歩みを学び、シアターによる花火演出を体験する。	「世界中の爆弾を花火に変えたい」という想いが地域文化として受け継がれていることを学び、人の想いが未来をつくることを理解する。
Snow Peak Headquarters	店長・大竹様	ミュージアム見学・キャンプ体験を通じ、自然と共生するライフスタイルや地方から世界へ発信する企業理念を学ぶ。	地域資源の新たな価値創造や挑戦する姿勢を学び、柳川の可能性について考える。



7.新潟セクション プログラム詳細

3日目：学びを整理し、自分の視点へ変える

訪問先	講師・案内	学習内容	狙い（柳川への学び）
Snow Peak Headquarters	JCメンバー	3日間の学びを振り返り、気づきや学びを参加者同士で共有する。	学びを整理し、自分自身の言葉で伝える力を養う。
新潟ふるさと村	JCメンバー	新潟の特産品や文化に触れ、自由散策を行う。	地域の魅力を「伝える」「残す」工夫を知り、柳川の魅力発信について考える。
日和山展望台 (新潟砂丘跡地)	JCメンバー	日本海を一望し、新潟の自然・地形について学ぶ。	柳川では見ることのできない景色を体験することで、日本の多様な地域性を知り、自分たちの地域を客観的に見つめ直す。



絆

～地域に愛を、未来に光を～

その景色は、
未来へ繋がっている。

柳川にしかない景色。
柳川にしかない空気。
そして、“柳川らしさ”とは何なのか。
自分たちの目で見て、
自分たちの足で歩き、
未来の柳川について考える2日間。

YANAGAWA JC 70th Anniversary Commemorative Project
August 29-30, 2026 (Sat.-Sun.) in YANAGAWA

8.柳川セクション プログラム詳細

1日目：柳川を深く理解し、探求の視点をもつ（歴史・掘割・文化）

訪問先	講師・案内	学習内容	狙い（柳川への学び）
柳川古文書館	館長・白石様	柳川の掘割がどのように造られ、今日まで受け継がれてきたのか、その歴史や役割について学ぶ。	新潟で学んだ「掘割再生」と比較しながら、柳川の掘割の価値や歴史的背景を理解する。
柳河ふれあいセンター	柳川市役所・杉本様	柳川の掘割の新たな活用やまちづくりについて講話を受け、参加者との対話を通して考えを深める。	行政の視点から地域づくりを学び、「守る」だけでなく「活かす」という考え方を身につける。
柳河ふれあいセンター	JCメンバー	新潟での学びと柳川での講話を振り返り、翌日のフィールドワーク計画をグループごとに作成する。	学んだ知識を整理し、自分たちで課題や視点を設定する探究学習へつなげる。



ネオ掘割再生で「水と人とまちが輝く柳川」へ
～歴史を紐解き今後のあり方を考える～

福岡県柳川市 杉本 賢二郎

1. はじめに
柳川市（以下「本市」とする。）は福岡県南部に位置し（図1）、全長930kmの掘割が市内を縦横無尽に走る水郷都市である。この掘割は「川下り」の舞台として貴重な観光資源となっているが（図2）、観光客数は平成29（2017）年をピークに減少傾向にあり（図3）、人口減少や高齢化、中心市街地の衰退などの社会、都市問題を抱えている。

また、筆者は3年前、福岡県北部に位置する北九州市から本市に移住してきた。前職では水まわり機器の開発に携わっていたこともあり、移住前は水と共生する柳川というまちでの生活を楽しみにしていたのだが、実際に生活してみると、外から見た印象とそこに住む市民の意識に差があるように感じた。

そこで本稿では、本市における「掘割」という地域資源の歴史的な背景を紐解きながら、「掘割と市民の関わり方」の現状や課題を整理し、今後の掘割活用のあり方を検討する。

2. 本市と掘割とのつながり
2-1. 本市における掘割の位置付け

図4 本市の都市部と農漁村部の位置関係

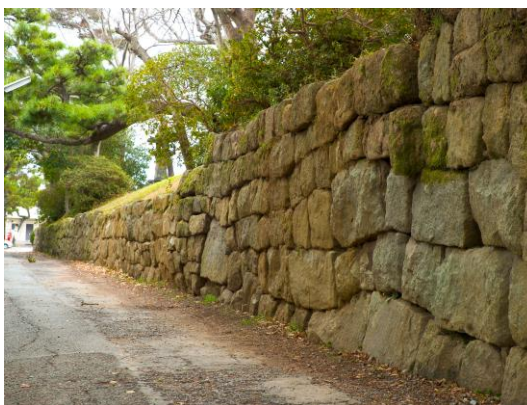
本市は、川の上流に都市部、下流に広大な干拓地の農漁村部が位置するという独特な地理特性、上流の都市と下流の農漁村が水流で結ばれているという空間特性を持つ（図4）。現在本市がある地域に人々が住み始めたのは2200年前である。当時の同地域は湿地帯であったため、土を掘ることによって土地の水はけを良くするとともに、掘割にすることで水を確保し、田畑への農業用水や人々の大切な生活用水として使用されてきた。

また、掘割を掘る事でできた土は、住宅を建てるための土盛りにも利用され、窪地だった土地も洪水や高潮などを防ぎ、人々が生きていくために住みやすい環境へと整えられていった。

8.柳川セクション プログラム詳細

2日目：自分たちの目で柳川を見つめ直す（フィールドワーク）

訪問先	講師・案内	学習内容	狙い（柳川への学び）
柳川市内各所	JCメンバー同行	グループごとに作成した計画に基づき、フィールドワークを実施。写真・位置情報・気づきを記録しながら地域を調査する。	自ら問いを持って地域を歩き、地域資源や課題を主体的に発見する力を育む。 ※安全管理のため各グループにJCメンバーが同行。
柳川商工会館	JCメンバー	フィールドワークの結果を整理し、グループごとに発表・共有を行う。	他者との対話を通じて学びを深め、自分たちの考えを整理・発信する力を養う。



9.未来計画作成・発表スケジュール

開催場所：柳川商工会館

前期：第1回～第3回のうち1回以上参加

第1回	9/11(金)	柳川セクション2日目で作成した内容の精査
第2回	9/13(日)	精査した内容から未来計画の原案を作成
第3回	9/20(日)	未来計画を作成

後期：第4回～第6回のうち1回以上参加

第4回	9/27(日)	未来計画の作成および発表練習
第5回	10/10(土)	発表練習
第6回	10/17(土)	発表練習および最終リハーサル

発表：10/18(日) 柳川青年会議所創立70周年記念式典にて発表（原則参加）

10.行政様・学校様・PTA様へのお願い

- 本事業の主旨をご理解いただき、積極的な参加のご協力をお願いいたします。
- 事前学習や事後学習にご協力いただけると、学びがより深まります。
- 参加にあたっての健康管理や持ち物の準備にご協力をお願いいたします。
- 発表に向けたご支援・ご助言をいただけると幸いです。



参考資料

- ・ 開催趣意書
- ・ パンフレット
- ・ 旅のしおり
- ・ 振り返りワークシート（抜粋）
- ・ 未来計画作成シート（抜粋）



※必要に応じて、すべての資料をお持ちいたします。

最後に

私たち、一般社団法人柳川青年会議所は、
「明るい豊かな社会」を実現すべく地域活動を行っております。

本事業は、中高生が「柳川の未来を自分ごと」をして
考え、仲間と共に行動し、地域に発信するまでを一貫して
体験できる学びの場です。

地域の皆様、行政・学校・PTAの皆様とともに、
次世代の可能性を育てまいります。

何卒、生徒様の参加動員にご協力お願いいたします。

